

調査世帯の皆様には日々お忙しい中、長期間に渡り家計消費状況調査にご回答いただき、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

この調査の結果からは様々なことが分かりますが、その中から幾つかをご紹介します。

その1 増加している電子マネーの利用

電子マネーの調査を開始した2008年以降の1か月間平均利用金額の推移をみると、毎年増加しており、2014年は2008年の1.4倍となっています。

次に地方別に電子マネーを利用した世帯の割合をみてみましょう。2008年と2014年と比べると、すべての地方で割合が多くなっています。

また、2008年、2014年ともに関東地方の割合が最も多くなっています。

図1 電子マネーを利用した1世帯当たり
1か月間の平均利用金額
(二人以上の世帯)

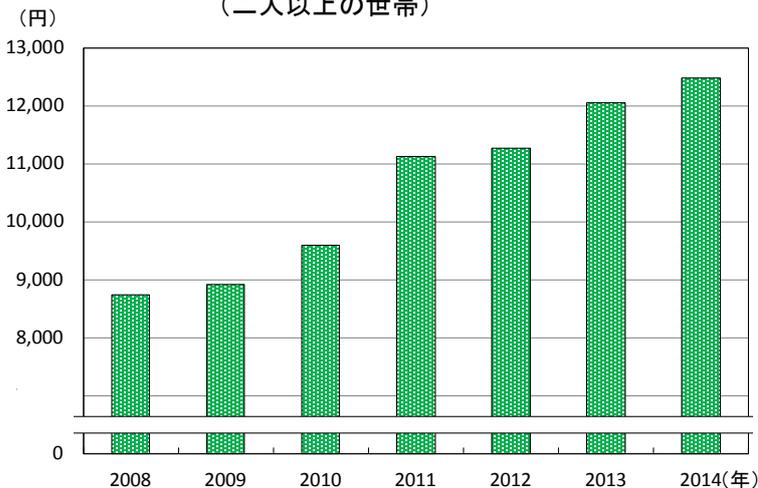
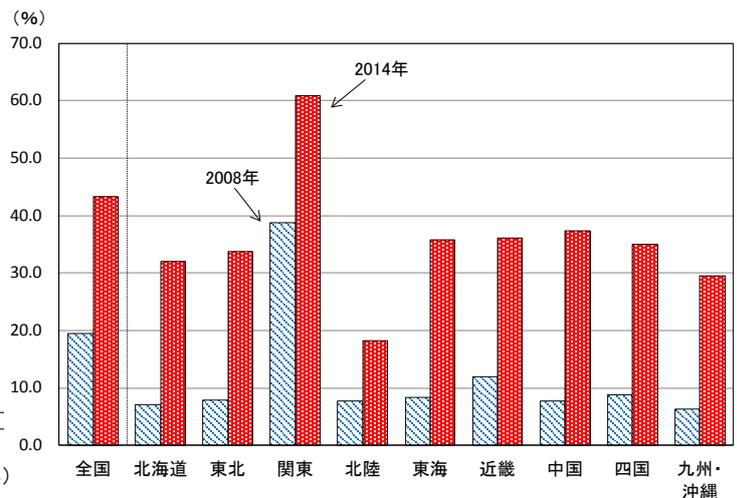


図2 地方別電子マネーを利用した世帯の割合
(二人以上の世帯)



統計局からのお知らせ

○ 統計局では、スマートフォン・タブレット端末で簡単・手軽に統計データを入手できる「アプリDe統計」を提供しています。お使いのスマートフォン・タブレット端末から、Android版（Android OS 4.0.3以上で利用可能）は「Google Play」より、iOS版（iOS 7.0以上で利用可能）は「App Store」よりインストールすることができます。ぜひご利用ください。

○ 統計局では、平成27年10月1日に「平成27年国勢調査」を実施します。国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とする、国の最も重要な統計調査です。国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、5年に一度実施されます。国勢調査へのご協力をお願いいたします。

Facebookでも最新情報を配信中です。 URL <https://www.facebook.com/kokusei2015>

家計消費状況調査については、総務省統計局のホームページでも紹介しています。

URL <http://www.stat.go.jp/data/joukyou/index.htm>

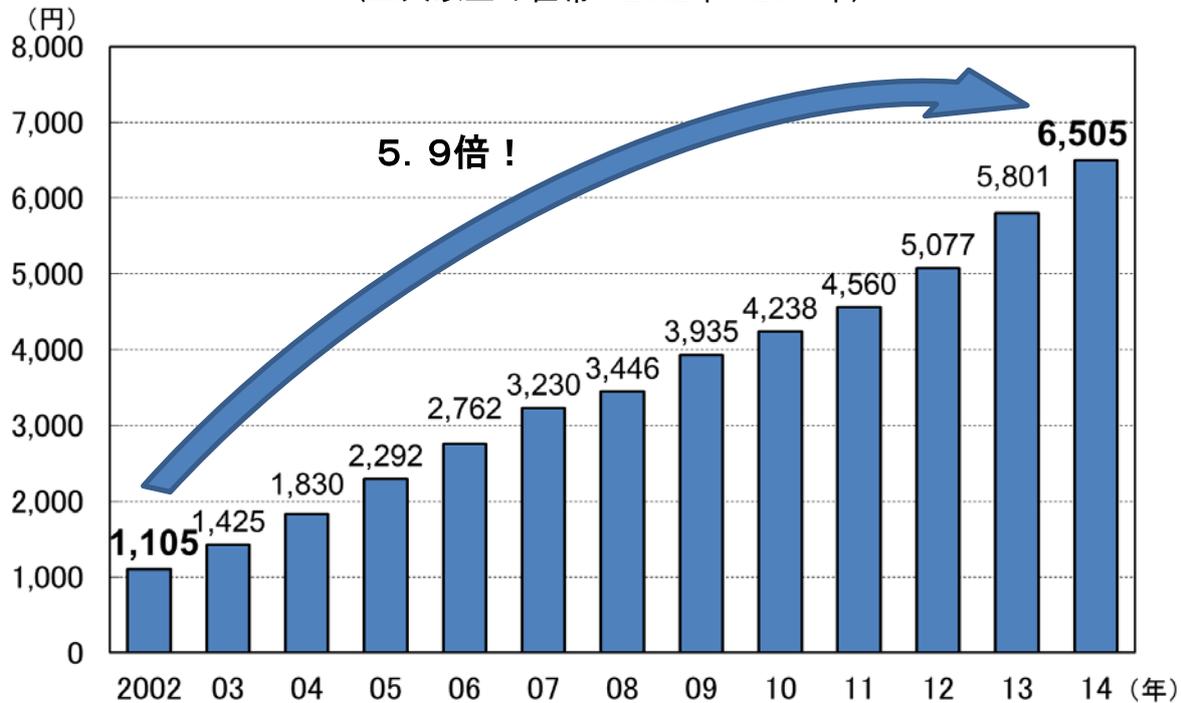
家計消費状況調査

検索

その2 急増するネットショッピングの動向

皆様にご記入いただいた調査票Bの4ページにある「インターネットを利用して購入した商品・サービスの支出総額」からは、いわゆる「ネットショッピング」の支出額の動向が分かります。その結果を見ますと、家計消費状況調査を開始した2002年から直近の2014年までの12年間で、5.9倍になっています。

図3 1世帯当たり1か月間のインターネットを利用して購入した商品・サービスの支出総額
(二人以上の世帯 2002年～2014年)



※ 上記は、インターネットを利用しない世帯も含めた、二人以上の世帯全体の平均支出総額です。

Q&A ～総務省統計局編～

Q 総務省統計局では家計消費状況調査のほかにどのような調査を行っているのですか？

A 総務省統計局は、我が国に住んでいる全ての人口などを調べる「**国勢調査**」や完全失業率など就業状態を調べる「**労働力調査**」、世帯の家計収支を調べる「**家計調査**」を実施しその結果を公表したり、物価の変動を測定する「**消費者物価指数(CPI)**」を作成し公表しています。

Q 総務省統計局はどこにあるのですか？

A 総務省統計局は、いわゆる官庁街である、東京都千代田区「霞が関」にはありません。霞が関からはちょっと離れた新宿区の若松町にあります。最寄り駅は、都営大江戸線の若松河田駅になります。また、同じ敷地内に、統計資料館などもありますので、お近くにお越しの際は、ぜひ見学にいらしてください。

Q 統計資料館とは、どのような資料を展示しているのですか？

A 統計資料館では、明治初期からの統計に関する貴重な文献や第一回国勢調査の記録資料・調査用品をはじめ、一般社団法人 情報処理学会が情報処理技術遺産として認定した我が国初の統計集計機である「川口式電気集計機」と同機で使用した入力用カードを作成する「亀の子型穿孔機」などの古い集計機器を展示しています。統計資料館に関する詳細については、以下のサイトをご覧ください。 URL <http://www.stat.go.jp/library/shiryo.htm>

統計資料館

検索

「政府統計の総合窓口 (e-Stat)」でも、統計データ等の各種統計情報をご覧いただけます。

URL <http://www.e-stat.go.jp/>

e-stat

検索